

すいしんきょう 活動事例集



南区社会福祉協議会イメージキャラクター まいまい・あいあい

南区社会福祉協議会

<平成30年1月>

★ も く じ ★

学区	内容	ページ
	地域福祉推進協議会とは…	1
明治	青少年活動	2
伝馬	推進協主体のサロン	3
豊田	思春期セミナー	4
道徳	地域支えあい事業（町内単位）	5
呼続	サロン&ふれネット	6
大磯	ふれあいネットワーク活動	7
桜	認知症予防サロン	8
菊住	ふれあいウォーキング	9
春日野	ふれあいネットワーク活動	10
笠寺	ふれあいいきいきサロン	11
星崎	福祉研修会&福祉ペタンク大会	12
笠東	高齢者支援&子育て支援	13
大生	花いっぱい運動	14
宝	給食会	15
宝南	ふれあいネットワーク活動	16
白水	芸能まつり	17
千鳥	なごやか給食会	18
柴田	高齢者交流会	19

各学区いろんな活動
があるんだね☆



明治学区の青少年活動

明治学区では学校との連携に力をいれており、給食会等を小学校にて実施しています。高齢者と様々な世代が交流することで、お互いに思いやりの心が生まれています。また、学校と手を取り合うことで、地域のイベントも盛り上がっています。

きっかけ

- ★小学生や青少年に対して、地域での良い思い出を作りたいと考えた。
- ★青少年活動に力を入れたいと思い、「**家庭・学校・地域**」で子どもを育てるために「**何が出来るか**」を検討した。

こんなところが特色！工夫！

- ★まずは運動会にボランティアとして中学生の参加を打診した。3年を要し実現する。夏祭りには中高生約30名がお手伝いをしてくれる。学校を卒業しても手伝いを継続してくれる子もいる。
- ★小学校の授業の一環として、**学区給食すみれ会参加者との交流の場**を設けている。(9月2年生、2月1年生の年2回)
- ★給食会に1・2年生に来てもらい、手遊びや肩たたきなどで高齢者とのふれあいを取り入れている。
- ★子育てサロンの参加者も給食会に招待し一緒に食事を楽しんでいる。
- ★その他、小学校で芋煮会と餅つきも開催し世代問わずみなさんと食事を楽しんでいる。さらに特別支援学級に出向きサンタクロース訪問をしている。
- ★中京看護学生40名が毎年研修にやってくる。高齢者の方々と交流を図っている。

かるたで交流☆
昔ながらの遊びを一緒に楽しみ
ます！

担い手確保、どうしてる？

- ★学区内の行事に出来るだけ参加し、**常にいい人探し**をして、協力者となってもらえるように依頼している。
- ★推進協を主体とするサロンスタッフのボランティアは25名ほどいる。見守り協力者は一本釣り。長年かけて約500名が協力者となっている。

こんなよかったことありました♪

- ★他の人の喜びに自分が携わっていることで、喜びとやりがいがある。
- ★**学区の団結力**が生まれる。サロンや行事をお手伝いしてくれる人も増えている。
- ★地域活動を進める中で、新しい活動である男性限定サロンが立ち上がった。

困ってます…

- ★大勢が集まると個性がでるため、**まとめるのが難しい**部分もある。打ち合わせや会議はその都度開き、意見交換を頻繁に行っている。



給食会！
肩たたきをしています♪

伝馬学区の推進協主体のサロン

伝馬学区では推進協を運営主体としたサロンを立ち上げ、誰もが気軽に足を運べる集いの場を作ること「孤立死防止」に努めています。また、伝馬学区では個別支援を行うボランティアグループである「伝馬・おたがいさま」も活躍しています。

きっかけ

- ★孤立死が発生したことから、見守り活動が必要と考えた。そこから派生し、**高齢者の方に外に出てもらう必要**があると感じ、推進協主体のサロンを立ち上げた。
- ★コミセンにカラオケの機械が使われないままであった。歌が好きな人が多いため、これを活用して高齢者の居場所作りができないか考えた。そして、てんま憩いが誕生し推進協主体のサロンが4つとなる。

こんなところが特色！工夫！

- ★推進協が主体となることで、**他町内だから…と躊躇せず**に参加できる。
- ★どのサロンも40～70名の参加があり、大いに賑わっている。
- ★多くの人が集まるので、民生委員も困っていることをサロンで把握できる。
- ★「てんま憩い」は、デイサービスに行っている人も参加できるよう午後6時～8時で開催。昼間はデイサービスに行き、夜は歌を歌いに来るという人もいる。

担い手確保、どうしてる？

- ★スタッフはボランティアと民生委員にお願いをしている。
- ★忙しくて協力が難しいとの声もあるため、**まんべんなく声をかけ**協力を得ている。

こんなよかったことありました♪

- ★参加している方から、**多くの声が聞ける**こと。例えば民生委員が高齢者の困りごとを聞く機会にもつながっている。

「伝馬・おたがいさま」にも取材！

- ★町内での孤立死をきっかけに、ボランティアグループ「伝馬・おたがいさま」を立ち上げ、現在40名のメンバーが活動している。
- ★活動は、「ちょっとした困りごと(個別支援)」の対応が中心。趣味や特技を活かす活動への関心も高まり、現在、麻雀、裂き織、囲碁、陶芸などが行われている。「**困ったときおたがいさま**」と言いあえる学区を目指している。
- ★学区と連携するためにも、学区定例会へ参加し、活動の啓発をしている。

困ってます…

- ★男性の参加者が少ない。**男性にも外出してもらうことが大切。**



てんま憩い！
伝馬神明社にて開催♪



伝馬・おたがいさま！
買い物の付き添い♪
「いつも助かっている」と
の声を聞いています。

豊田学区の思春期セミナー

豊田学区では、主任児童委員さんを中心に、小学校の授業に子育てサロンの親子が行き、命の大切さ等を伝える「思春期セミナー」を行っています。小学生にも親子にもメリットがあり、また学校ともつながることのできる活動です。

きっかけ

- ★今後の学区を担う子どもたちへ何か支援ができないかとの思いから。
- ★**地域と学校をつなぐパイプ役**になることの大切さを感じたため。
- ★反抗期が始まっていく多感な年ごろである4年生をターゲットに。
- ★主任児童委員が学校の評議員になっているのでそこからつながった。

こんなところが特色！工夫！

- ★子育てサロンに来ている未就園児を持つ親に協力してもらっている。
- ★学区担当の保健師とも連携している。
- ★**先を見据えた子育て支援**ができる。
- ★地域だからこそできることを。

困ってます…

- ★学校と関わりつながり協力し合うには、学校側の課題解決策を提案したり、学校外の子どもの見守りを行ったり等学校にもメリットがあることを伝えていった。
- ★学校の先生が代わるとまたできなくなったりする。1年は交渉の年にして1年後を実行の年として**根気よく**行う。

担い手確保、どうしてる？

- ★みんな協力し、一体となって給食会やサロンを行っている。良い関係を築き活動しやすい雰囲気を作っている。
- ★後任者を探す時、今のメンバーとやりやすい人を探すように心がけている。
- ★地域で活動している人を見つける。
- ★声をかけるとき、「大丈夫、無理なく、みんなで支え合うから」と伝える。
- ★自分たちが**楽しく、わくわく**できるような活動を行う。

こんなよかったことありました♪

- ★赤ちゃんとふれあうことで子どもは自己肯定感を強めたり、赤ちゃんと親の関わりを学んだり、帰ってからの会話も多くなる。
- ★親は今後自分の子どもが通う学校のことを知れて、地域の子どもたちとつながることができる。
→**双方にメリット**がある！



思春期セミナー



道徳学区の地域支えあい事業(町内単位)

道徳学区では、平成20年より「地域支えあい事業」に取り組んでいます。活動の中心は町内会です。「町内の困りごとは町内で解決」をモットーに活動を進めています。ふれあいネットワーク活動も町内会単位(1町内6人以上の協力者)で取り組んでいます。

きっかけ

- ★社協から「地域支えあい事業」を立ち上げないかと提案があり進めた。
- ★前学区委員長が、道徳の支えあい事業は「**町内会を基本**」とした活動にすることを決めた。
- ★町内のことは町内で支えあうことを大切にしたいと考えた。

担い手確保、どうしてる？

- ★新しい人に役を引き継ごうにも、なかなか承諾してくれないことが多い。役を引き渡す側も、**アフターフォローをすること**を伝え、安心してもらうことが大切。相手も引き受けやすくなる。

こんなところが特色！工夫！

- ★現在では**31町内中24町内**が何かしらの活動(個別支援や見守り活動)を実施している。
- ★事業開始前に、見守り活動や電球の交換等を行っていた町内をモデル町内とし、他町内が参考にする方法をとる。
- ★新しいことを始める時には、町内の意見を聞くようにし、アンケートを実施した町内もある。
- ★電球を交換する等の手助けは、お金の負担が大きいのでは…との不安もあるが、町内の人紹介や気心が知れている仲であれば安心して活動を依頼できる。

こんなよかったことありました♪

- ★町内で活動することで、**顔の見える関係**ができた。
- ★町内のことをより考えるようになり、町内での垣根がなくなった。
- ★相談する場がない人にとって、町内の人に相談しやすい場となっている。

資源回収！



困ってます…

- ★全町内実施には至っていない。未実施は7町内。何かしらの活動は実施しているはずであるため、**活動実績に結び付ける**ことが必要である。
- ★後継者が不足している。役員自身年を重ねていくため、新しい担い手確保が必要である。
- ★後継者にスムーズに役割を引き継いでいくことが課題である。



町内で支えあいマップを作成！情報共有に努めています。

呼続学区のサロン&ふれネット

呼続学区では、サロン活動や民生委員を中心としたふれあいネットワーク活動に取り組んでいます。ふれネットでは、連絡網を作成、配布し見守り対象者と会う機会がなくても電話で連絡できる体制をとっています。

きっかけ

★以前、町内の老人会が解散した。高齢化社会になるというのに、現状は逆行しているのはおかしいと思って、1年のブランクを経て**サロン活動**からはじめた。

担い手確保、どうしてる？

★**役割の分担を進めること**にしているが、なかなか難しい。行事ごとに担当者を決める。定例会の会計、食事会の企画、歌声集会の計画、ウォーキングの計画といろいろあるが、運営方法を検討することが課題。

こんなところが特色！工夫！

- ★サロンは、月2回定期的に集まっている。
- ★ふれあいネットワーク活動については、町内の人に依頼している。定例会には毎回15人前後が出席するようになったので、そのたびに**安否確認・情報を交換**し連絡を取り合うようお願いしている。

こんなよかったことありました♪

- ★同じ町内でも疎遠になっていた人が集まるようになった。名前を覚え、あいさつができる関係を築くことができた。名前と顔が一致して活動にも幅ができ、人間関係が再構築できた。
- ★定期的に集まり、活動をともにすることによって親近感が湧き**意思疎通が容易**になった。

困ってます…

- ★町内会に加入していない人の扱いは難しい。また外に出たがらない人もいる。そういう人は誘うにも煩わしく感じることもある。
- ★女性の参加は多いが男性は渋る傾向が強い。一人でも多くの人に参加できるように行事も増やしている。週1回の行事も同じメンバーということが多い。渋る人を一歩踏み出すようにすることが課題。
- ★後継者が育たないこと。

編み物とおしゃべり会♪



ウォーキング☆



大磯学区のふれあいネットワーク活動

大磯学区では、民生委員、町内会長、サポーター（近隣住民）が、民生委員の対象のひとり暮らし高齢者を中心とした見守り対象者を、日常生活でできる範囲で見守っています。年に一度は支えあいマップ作成を行い、マップの更新と情報交換を行っています。

きっかけ

- ★一人でいる高齢者なるべく元気でこの街でいられるようにとの思いから。
 - ★この活動を行うことによって、
 - ①民生の対象の高齢者への見守りの目を増やせる！
 - ②見落としがちな民生の対象以外の人を把握することができる！
 - ③町内会長や組長と協力体制がとれる！
- ↑上記のような利点があったため

こんなところが特色！工夫！

- ★対象者に一番近い近所の人（隣、向等）にサポーターになってもらう。
- ★町内のことを一番よく知っている町内会長、組長にも協力してもらう。
- ★概ね対象者1人につき、**民生、町内会長（または組長）、サポーター（ご近所）で見守り**を行う。
- ★民生の見守りは毎日ではないが、ご近所は毎日見ることができるので任せられる。

困ってます…

- ★みなさん協力してくださるので今のところは特にない。

年1回のふれネット勉強会。内容は支えあいマップ作成や事例報告など。

担い手確保、どうしてる？

- ★とにかく負担や責任を感じさせないようにすること。訪問や声掛けの必要はなく、**日頃外からさりげなく見守るだけ**で良い、何かあった時は民生に連絡してほしいと伝えて、特別何かしなくてよいと伝える。
- ★サポーターと町内会長には年1回のふれネット勉強会の際に、活動を知ってもらい情報共有するとともに、日頃の感謝の気持ちを述べている。町内会長にも感謝されている。
- ★お隣でも仲の悪い人もいて、サポーターをお願いした時に拒否されてしまったが、訪問ではなく**ただ外から見守るだけ**とお願いしたら大抵はOKしてくれる。

こんなよかったことありました♪

- ★お隣や向かいに住んでいる人をお願いすることで**民生だけではできないところをカバー**してもらえる。
- ★隣の人を対象者の異変にいち早く気が付いたことがあった。対象者にとっても感謝された。



防災訓練でふれネットの名簿を利用。町内で情報を共有。

桜学区の認知症予防サロン

桜学区では、地域支えあい事業開始とともに新たに「桜おたっしゃかねサロン」を開設しました。スタッフは、支えあい事業のボランティアさんが中心なので、参加高齢者の送迎をしたり、認知症予防のプログラムを取り入れたりしています。

きっかけ

- ★高齢の方がいつまでも地域で元気に生き続けてほしいという思いから。
- ★高齢の方が家に引きこもらないように、地域に出て来てもらうため。
- ★ちょうど地域支えあい事業を開始し、個別支援をしてくれるボランティアさんたちが集まったため、サロンもお願いした。

こんなところが特色！工夫！

- ★もともと運営主体が個別支援ボランティアさんたちであるため、なかなか一人では出てこられない**高齢者への送迎**を行う。
- ★昔のビデオ鑑賞やカラオケを行い、回想をしてもらうことで認知症予防につなげる。
- ★お客さんの声を聞きながら、毎回スタッフで話し合って企画している。
- ★みんな話したくて来ているので、談笑の時間もとる。

困ってます…

- ★来てくれる人はいいが、**家から出てこない人**は本当に出てこない。
- ★何をすれば高齢者が喜ぶのか試行錯誤している。参加者全員が喜ぶものは難しい。
- ★スタッフの輪が広がらない。
- ★机の配置を工夫して、できるだけ多くの人が座れるようにしたり、廊下にカーペットをひいたり、できる工夫はしているが、会場のコミセンが狭くバリアフリーでないこと。

担い手確保、どうしてる？

- ★現役の人は忙しいと言って断られてしまうので女性会等学区の**組織をやめた人をターゲット**にする。とくに民生委員をやめた人へ積極的に声かけする。
- ★いろいろなところへ顔を出し、地域で活動する人に声かけする。
- ★女性のネットワークを利用する。

こんなよかったことありました♪

- ★来てくれた人はみんな楽しんでくれて、**帰るころには元気**になっている。
- ★一人ではカラオケにいけない人も、ここに来て歌の楽しさを知ってくれる。



みんなで合唱♪

学区内の鍼灸院の先生に来てもらい健康体操♪



菊住学区のふれあいウォーキング

菊住学区では、高齢者から子どもと一緒に参加するウォーキングを年に1回開催しています。多くの人に参加し一体となり、ウォーキングを楽しみます。抽選会を取り入れ、子どもも最後まで楽しめる地域のイベントとなっています。

きっかけ

- ★15年前、3代前の委員長の提案で始まった。
- ★学区民の絆を深め、お互いに顔の見える関係作りのために実施している。
- ★子どもと大人と一緒に汗を流し、子どもたちが菊住で育ってよかったと思えるような幼年期の思い出づくりの手助けになると良い。
- ★**高齢者の健康増進と子どもたちの健全育成**につながると良い。

担い手確保、どうしてる？

- ★定例会にて実施計画書案の検討をし、**大勢で事前準備**をすることにより方向性の一致等に努めている。

こんなよかったことありました♪

- ★**知り合いが増えた。**(遠くの町内の人との関係づくり)
- ★毎年400人～450人程度が参加している。区長も参加。

こんなところが特色！工夫！

- ★参加意欲の高揚のため、歩く距離を3キロから5キロを選択してもらう。完歩すると抽選で景品を配布する。
- ★幼児や高齢者、親子での参加もある。子どもの参加は、参加者全体の3分の1以上ある。
- ★町内会長に参加者をおおむね把握してもらう。自主的な参加となっているため、正確な出欠はとらないが、**1町内10～15名の参加**がある。

年1回！
ふれあいウォーキング♪



困ってます…

- ★参加者の数が把握できないため、記念品や景品の準備に苦戦する。
- ★**人出不足。次世代に引き継ぐことがなかなかできない。**



高齢者から子どもまで皆で楽しみます♪

春日野学区のふれあいネットワーク活動

春日野学区では、町内ごとに、民生委員や組長等と協力し、ふれあいネットワーク活動を行っています。28年度に何回か準備会を行い、29年度から本格実施ということで、全町内に計画書を提出してもらい、町内ごとに活動を進めています。

きっかけ

- ★高齢者が増えてきて、福祉は民生任せではなく学区全体で取り組まなければいけない問題と感じた。
- ★まず何をすべきかわからなかったので社協に相談した。
- ★ふれネットを始める前に、まずは**地域で顔見知りをつくること**が必要と思い、みんなが集まれる場所であるサロンを開設した。
- ★学区行事も増やしていった。すべては声のかけやすい地域作りのため。

こんなところが特色！工夫！

- ★**振り返りを大事**にしている。前に進むだけでなく時々振り返ることで、ついていけない町内を学区でフォローする。(学区全体の会で)
- ★学区全体の会で、悩みを打ち明けたり情報交換ができる。
- ★効果が見えにくい活動なので、効果測定を行うためにチェックシートを作成している町内もある。
- ★自分が代わっても次の世代に残るように、様式を作成し残しておく。
- ★防犯パトロールの際にも見守る。

困ってます…

- ★昔からいる方はやりたがらない。
- ★**町内で活動の温度差**がある。
- ★見守りを拒否する人への見守り。

担い手確保、どうしてる？

- ★町内独自で青年団をつくった。25～48歳で構成され、町内の行事を手伝う。将来は役員、消防団等へ。
- ★地域の活動に参加している人を狙う。
- ★奥さんの協力を得る。女性の力を。
- ★誘う時、「**昔ながらの近隣付き合いを取り戻そう**」と声をかける。
- ★町内役員の成り手がいないが、ふれネットくらいなら大抵の人は引き受けてくれる。

こんなよかったことありました♪

- ★町内の会議が増えたので、今まであまりなかった組長との交流が増え、相談もしてくれるようになった。また**町内全体の声かけも増えた**。
- ★民生から相談されたり、民生と連携できるようになった。

年2回ふれネット会議を学区全体で開催。この時は4町内から活動報告。



サロンの他にも史跡めぐりの開催も。子どもから高齢者まで参加し交流♪



笠寺学区のふれあいきいきサロン

笠寺学区では、笠寺公民館（年に数回笠寺コミセンでも開催）にて、ふれあいきいきサロンを行っています。学区推進協としては初めてのサロンであり、参加する方が楽しめるように様々な工夫をしています。

きっかけ

- ★高齢者に家から外に出てきてほしい、ふれあいの場を作りたいという思いから。
- ★災害などのいざという時に備え、**地域の絆**を作りたい。
- ★学区全体のサロンなら誰もが来やすい。
- ★コミセンができ、公民館はほとんど使用していないため有効活用しようとの思いから。またサロンで使う物を置いておける。

担い手確保、どうしてる？

- ★団体や役員に協力してもらって制度にしない。運営に強制参加させない。
- ★スタッフが友人等に声をかけていき、自然とスタッフの輪が広がっている。
- ★毎月のサロンの打合せは特にせず、みなさんのアイデアやその場でやりたいことを実施している。
- ★**無理なく活動**することを大切に。
- ★スタッフは毎回10名程度。役割分担などは特にせず、できる役割をできる人が行う。

こんなところが特色！工夫！

- ★「おもてなし」がコンセプト。
- ★会場にスタッフや参加者の特技を活かした作品を置く。
- ★上記の作品を窓口や卓上に置くと、参加者同士の話が広がるとともに、会場が華やかになる。
- ★机とイスは学区に住む木工屋の方の手作り。
- ★参加者みんなが主役の気持ちで。

こんなよかったことありました♪

- ★学区推進協主体ということで**誰もが来やすい**サロンになっている。
- ★喫茶店では歌や体操が出来ないが、このサロンではできる。

このぼりが目印！
外の席では男性の参加者がお話☆



困ってます…

- ★4月から開催しているが今のところなし。



公民館の中は満員！
歌を歌ったり健康体操をしたり…♪

星崎学区の①福祉研修会②福祉ペタンク大会

星崎学区では、推進協メンバーの福祉意識を高めるために福祉施設へ見学に行く①「福祉研修会」と、3月を「地域福祉推進の月」とし、子どもも高齢者も障がい者も楽しめる②「福祉ペタンク大会」を行っています。

きっかけ

- ① ★元々民生の活動であったが、学区で推進協の整理をした際に、改めて**推進協の活動に位置付けた**。今は民生以外の構成員も参加している。
★研修の行先は、施設でボランティアをしている構成員に聞いたり、社協から情報をもらったりしている。

こんなところが特色！工夫！

- ① ★勉強のため、区外の先進的な福祉施設を見学したり、交流のため**学区内の福祉施設**の見学も行なっている。
- ② ★子どもや高齢者の他に学区内福祉施設入居者が参加している。(昨年は5施設)
★毎年**学区推進協が施設に伺い**、直接声をかけている。

困ってます…

- ① ★本当は推進協構成員として各種団体のメンバーが参加できると良いが、みんなの予定を合わせるのが難しく、民生と数人の構成員の参加となっている。
- ② ★雨の時はバリアフリーでない2階の体育館で行うので、車いすの方がいると参加できないことがつらい。
★屋外で行うので、雨もそうだが寒いと参加しない高齢者がいる。
★**予算も担い手も不足**している。新しいことを始めることが難しい。
★各種団体のつながりが薄い。

担い手確保、どうしてる？

- ★**マニュアル**を残して次の人に引き継ぎをしっかりと行う。文書化していれば引き継ぎも最小限ですむ。
- ★**めぼしい人を一本釣り**している。初めからその人の家に直接行って話す。根気よくその人のところへ通って誘う。通っていくうちに誘うタイミングがつかめてくる。

こんなよかったことありました♪

- ① ★推進協は福祉に関わる人が多いので、**推進協の形式を固める**ためにも必要。
★見識が広がるので、福祉に関する話や説明ができるようになる。
★自分と違う生活をしている人がいることを直接自分の目で見るができる。
- ② ★ペタンクは誰でもできるスポーツなので施設の人にも声がかかりやすく、多くの方に参加してもらっている。



学区とつながりの深い中川区の障がい施設に見学☆

ペタンク大会に高齢・障がいのある方も参加♪



笠東学区の①高齢者支援②子育て支援

笠東学区では、以前よりも高齢者が集う場を増やすなど高齢者の方に喜んでもらう取り組みを進めてきました。高齢者だけではなく、子育て世代への活動にも力を入れています。

きっかけ

- ① ★給食会を開始し、年1回(毎年11月)「福祉の集い」を開催。**高齢者同士、民生委員と高齢者がつながってほしい**との想いもあった。
- ② ★南区で子育て支援のニーズが高まってきて、南区では3番目に立ち上げる。主任児童委員を中心に、児童委員、**保育園や保健所、ボランティア**に協力をしてもらっている。

こんなところが特色！工夫！

- ① ★通常の給食会との違いは、70歳以上の独居の方を対象とした催し。保育園の園児さんに手遊びや歌を披露してもらうなど**子どもとのふれあい**は高齢者に非常に喜ばれる。
★「福祉の集い」の他にも、27年度から年に3回ほど「茶話会」「お楽しみ会」を設けている。こちらは広く高齢者を招待。回数を増やしふれあいの活動の充実をはかった。
★29年度は敬老のお祝いとして「今治タオル」をプレゼントした。
- ② ★0～3歳までを対象にサロンを行い、年齢をまとめて実施する学区が多い中、**0歳児(ぽっぴこ〜ん)、1歳～3歳(ましゅまろクラブ)**に分けている。0歳児と2歳児の母親の悩みは違うため年齢に合わせた活動をし、時には母親にやってほしい内容を聞いたりして開催している。
★参加者は毎回どちらのサロンも15組ほど。

担い手確保、どうしてる？

★他に仕事を持っていたり、町内の他の役を兼務している方が多い。継続のお願いとともに、早くから新たな担い手を探し出し、スムーズな世代交代をはたしていくことが課題。

こんなよかったことありました♪

- ① ★一番は**参加者が楽しみ喜ばれること**。
★民生の対象ではない人にも参加してもらうことで、今後の見守りにつながる。
★学区の役をやっていた人や現役を引退した人も、給食会に来てくれることで、その変わらない姿をみて安心するし、見守りにもつながる。
- ② ★たくさんの**子どもたちの成長をみられること**や、町であった時に「こんにちは」と声をかけてくれると、つながっていたと感じて嬉しい。

困ってます...

- ① ★**予算が少ない**。たくさんの方に参加してもらおうと試行錯誤するほど、場所と予算が課題になってくる。
★男性の参加者が少ない。夫婦での参加はあるものの、男性は数人である。来たがらない人に対して、友人が誘いだしてくれると見守りにつながるので良い。

子育てサロンで
ボールプール☆



大生学区の花いっぱい運動

大生学区では、「サクラソウ」を地域に広げたいと学区をあげて「花いっぱい運動」に取り組んでいます。その名の通り、大生学区にはきれいなサクラソウがたくさん咲きます。管理は大変ですが、その分地域の方が喜んでくれています。

きっかけ

- ★大生学区の花が「サクラソウ」に決まったことが始まり。
- ★以前は区役所から助成金が出ていたが、現在は学区の活動「花いっぱい運動」として活動している。

こんなところが特色！工夫！

- ★活動者は、民生委員や町内の責任者で場所は公園など。毎日水やり等の管理をしている。
- ★学区の花だけではなく、要望があればサクラソウ以外にも好きな苗を植えることも可能である。
- ★推進協の事業として福祉的交流を実施する。**12月の給食会にてサクラソウの苗を3つずつプレゼント**している。現在は70人ほどが対象で、だいたい350~400株ほどの苗を準備し、自宅に植えてもらっている。
- ★サクラソウやその他の花を活用し押し花を作成する。民生委員が各担当高齢者を対象に残暑見舞いとして押し花を送っている。
- ★学区からのバックアップもあり活動を続けている。委員長からの理解も得られており、花いっぱい運動への費用も使い道も任せてもらっているので、活動がしやすい。

担い手確保、どうしてる？

- ★大生学区は行事が多い。行事に協力してくれる町内会長もおり、**顔の見える関係を築くこと**を意識している。

こんなよかったことありました♪

- ★給食会で苗をもらえるのを楽しみに待っている方がいる。中には**男性の方も喜ばれる**。
- ★花を通じて会話も増える。道沿いに植えてあると嬉しい気持ちになる。花が植えてあると気持ちもなごむ。

困ってます…

- ★費用が少ない。苗の購入や肥料などお金がかかる。学区や推進協の助成金、町内会からの寄付で何とか運営しているが、**予算が足りない**のが現状。
- ★世代交代についても課題。

学区の花♪
サクラソウ!



苗をプレゼント♪

宝学区の給食会

宝学区では、給食会の参加者が多く、すべて手作りであるため非常に喜ばれています。イベントも取り入れており和気あいあいと開催されています。

きっかけ

★給食会として事業を開始する際に、宝学区では**民生委員を中心とした活動**とすることにした。

担い手確保、どうしてる？

★担い手が少なく、民生委員の欠員が続いている。町内会長も含めて、**後継者不足が深刻**。そもそも町内会に入らない人も増えているため、成り手がないのが現状。

こんなところが特色！工夫！

- ★会食は4回、配食は2回。配食は外に出づらい人からの依頼も多い。会食はすべて手作り。
- ★会食は3班に分かれて担当をしている。それぞれ役割を決めている。
- ★会食ではレクを取り入れ、ビンゴゲームや手遊び体操などを楽しんでもらっている。
- ★メニューは民生委員の中で交代しながら考案している。
- ★**テイサービスの職員がスタッフとしてお手伝い**している。若い世代がいることで、力仕事などは非常に助かっている。毎回2～3名の職員に入ってもらっている。
- ★民生委員OBがスタッフとして参加している。

こんなよかったことありました♪

- ★給食会に来ている人と話ができる。会話を通して**状況の把握**にもつながる。
- ★外に出かけられる機会にもつながる。

じゃんけん大会☆



困ってます…

- ★会食は、今以上に招待すると、会場のキャパがない。以前は1階も使用していたこともあったが、1階と2階を分けることで交流がもてないため中止となった。
- ★配食は**配るのが非常に大変**。現在の民生委員の数だけでは担いきれない。
- ★外に出ることを嫌がる人とのつながりを持つことが課題。



じゃんけんを勝ち抜いた人へ粗品を進呈！



宝南学区のふれあいネットワーク活動

宝南学区では、民生委員を中心に近隣住民の協力を得て、ふれあいネットワーク活動を行っています。また、見守り協力者の研修会兼交流会を年に1回開催し、みなさんで意見交換を行い、知識・意識を高めています。

きっかけ

★高齢化により、民生対象の高齢者を見守るのに民生だけでは追いつかなくなってしまうので、**地域のみなさんに協力**してもらおうと思い始まった。

担い手確保、どうしてる？

- ★負担にならないように、**さりげない見守り**をお願いしますと伝える。
- ★運動会等の地域の行事で何人かに声をかけておき、後で依頼しに行く。

こんなところが特色！工夫！

- ★毎年2月にふれネット活動交流会を開催している。これは普段見守りに協力してもらっているみなさんへの**感謝を伝えるとともに、見守りについて意見を聞く**ため。
- ★見守りだけでなくサロンもテーマ。
- ★活動を理解してもらい広げるために、学区連協にも声をかけた。今では交流会に学区連協のメンバーも出席している。

こんなよかったことありました♪

- ★協力者がいることで民生が**安心して活動**できる。仕事をしている民生も多いので、日中見られないところを見てもらって助かっている。
- ★協力者にすぐに異変を知らせてもらい、対応が早くできた。

ふれネット交流会。
多くの方が参加！

困ってます…

- ★見守る側が高齢になっている。何歳まで見守りをすればよいのか…。
- ★昔から地域を良く知っている人に頼むので、自然と高齢の方をお願いすることになる。若い人に頼みたいが、若い人は地域のことをよく知らず、つながりがない。
- ★集合住宅は外国人が多い。言葉も文化も違う。
- ★声をかけると、変に思う人もいるので気軽にかけられない。
- ★**民生の対象ではない人**の把握が難しい。
- ★自分で「助けて」と言えない「助けられ下手」な人への見守り。



年に1回推進協の
総会を開催。

白水学区の芸能まつり

白水学区では、小学校の体育館にて、「芸能まつり」を開催しています。こちらは、多くの団体が日頃の練習の成果を発表する場となっています。地域に密着した行事で、多くの子どもたちも一緒に参加しています。

きっかけ

★25年前に地域のふれあい交流のためはじまった。**長年続いてきた**ことを現在でも継続している。

担い手確保、どうしてる？

- ★**担い手不足**のため、一部の町内では組長や体育委員の役は交代制にしている。
- ★民生委員は、対象町内から選出してもらっている。

こんなところが特色！工夫！

- ★舞台披露と作品展示を実施。
- ★申込用紙を組回覧し、コミセンの窓口にて募集を行っている。また、地域の方々の発表の場となっている。参加者は18団体ほど。
- ★プログラムの合間に子どもたちの発表の場を設け、多くの世代の方が会場に足を運べるプログラムにしている。
- ★運営スタッフは町内会長、民生委員、各種団体。
- ★会場は白水小体育館で**来場者は300人ほど**である。
- ★279<つなぐ>ステーション(まちづくりを行うコミュニティレンタルスペース)を活用して商店街との関係作りを行っている。
- ★子どもが似顔絵を描くブースを設定している。

こんなよかったことありました♪

- ★日頃の活動の発表の場となることや、**練習の励み**につながっている。舞台も作品も、子どもも大人もこの日のために頑張っている。
- ★出来るだけ出演者の希望に沿えるよう、ライトやマイクの位置を確認している。準備段階では大変なことも多いが、手をかけた分だけ喜んでもらえるため嬉しい。

舞台披露！
子どもの太鼓披露は迫力満点！



困ってます…

★**限られた時間しかない**ため、もう少し舞台に立ちたいとの声もある。多くの団体が満足に披露できるよう、工夫ができればと思う。



作品展示♪

千鳥学区のなごやか給食会

千鳥学区では、学区内の社会福祉法人である「名古屋キリスト教社会館」にて、ふれあい給食会（千鳥では「なごやか給食会」という）を行っています。学区と施設は日ごろから協力関係にあり、深いつながりがあります。

きっかけ

- ★施設の方から「施設を使用して『なごやか給食会』を行いませんか」というお誘いをいただいた。設備も整っていたので、大変実施しやすかった。
- ★給食会がきっかけで**学区と施設のつながり**ができ、以降、学区の行事に施設が参加するようになった。

担い手確保、どうしてる？

- ★1年でやめる人が多いので、**前任の人にも手伝ってもらう**。1年で変わるため、それだけ多くの人に声をかけないといけない。日頃から協力してもらえそうな人を見つけて、育てることを意識している。
- ★1年は短く、その都度人を探すのは大変だが、逆に1年だけならと言って受けてくれる人もいます。

こんなところが特色！工夫！

- ★調理の設備が整っている。
- ★栄養士がメニューを一緒に考える。
- ★送迎車を使って一人で来られない高齢者の送迎をしてくれる。
- ★準備から当日の運営まで職員が手伝ってくれる。
- ★終了後、参加者が施設の子も達と盆踊り等の**交流**ができる。

こんなよかったことありました♪

- ★学区は施設の設備とスタッフのおかげで負担が軽くなる。施設は地域の高齢者のことを把握でき、また学区とつながることができる。
- ★学区住民が、外で施設利用者とうつと、あたたかく声かけしてくれる。
- ★学区定例会に施設職員が出席、公民会の一員でもある。施設の会議や式典にも学区役員が出席している。
- ★福祉的な課題があった時に、**学区が施設に気軽に相談**できる。
- ★参加者は毎回楽しみにしてくれている。また元気な姿を見ると安心。

困ってます…

- ★給食会の中の催しを考えること。
- ★推進協全体でみると、各種団体の横のつながりがあまりないので、学区行事にはなるべく参加してもらうよう声かけしている。**顔の見える関係作り**を心がけている。

なごやか給食会。
なごやかで楽しい
雰囲気♪

子どもも高齢者もみんな
で楽しく盆踊り☆



柴田学区の高齢者交流会

柴田学区では、年9回のふれあい給食会のうち、2回を「高齢者交流会」として、対象者を拡大して行っています。多くの高齢者が参加でき、楽しめるような工夫があります。

きっかけ

★一人暮らし高齢者向けの給食会はあったが、対象者を一人暮らしに限定すると、友人同士で来られなかったりする。

こんなところが特色！工夫！

- ★子どもと住んでいても、日中は一人であったり実態は変わらないので、9回の給食会のうち、2回は一人暮らし限定をやめて、**高齢者なら誰でも来られる**ようにした。
- ★三味線、詩吟、歌謡曲等を本格的に行うボランティアさんに披露してもらおう。
- ★春はお花見として桜の花を飾り付けて大正琴を演奏し、季節を感じられるようにしている。
- ★**コミセン**を使用しているグループにも声をかける。

困ってます…

- ★スタッフは民生だけで足りないので前の民生にも頼んで手伝いに来てもらっている。
- ★平日働いて、土日は家のために時間を使う人が多いので、なかなか担い手になってくれる人を探すのが難しい。
- ★マンションが**町内会に入っておらず**、そこに高齢者がいても実態がつかめず、声がかけれない。

担い手確保、どうしてる？

- ★学区の会合で願います。
- ★みんなが集まる地域の行事等に行き、いろいろな人がいることを知る。
↓
★**人が集まる学区の場**を利用する。

こんなよかったことありました♪

- ★参加者が毎回とても喜んでくれる。
- ★参加者同士が顔見知りになってくれる。
- ★交流会が**安否確認の場**になっている。
- ★一人暮らしの方だけでなく、子どもと住んでいる方とも知り合いになれる。
- ★長く地域に住んでいる高齢者の方から、地域の情報を教えてもらえる。

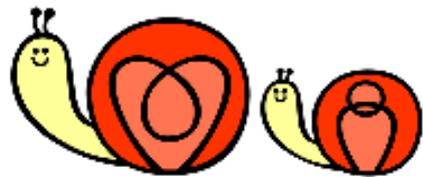


ボランティアさんの歌に合わせてみなさんで合唱♪

はずれなしのピンゴで大盛り上がり☆



南区を「人がやさしい」
まちに…！



◇発行◇

名古屋市南区社会福祉協議会

〒457-0058 名古屋市南区前浜通3丁目10番地 南区役所庁舎4階

T E L : 823-2035 F A X : 823-2688

Eメール : minamiVC@nagoya-shakyo.or.jp

◇協力◇

第3次地域福祉活動計画3グループ